

氏名	金村 尚彦	部署	大学院 理学療法学科	職名	教授
研究分野	運動器理学療法学、基礎理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	広島大学大学院医学系研究科				
経歴	平成20年4月 埼玉県立大学 講師 平成24年 埼玉県立大学 准教授 平成28年 埼玉県立大学 教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、米国神経科学学会、米国整形基礎学会、運動器理学療法学会、基礎理学療法学会、軟骨代謝学会、専門リハビリテーション研究会（理事）、（公社）埼玉県理学療法士会（学会評議委員会）				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	運動器障害理学療法学	共著	あり	メジカルビュー社 671P	金村尚彦、加藤浩	2020.12
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Relationship between the walking velocity relative to the slip velocity and the corrective response	共著	あり	○ Journal of Medical and Biological Engineering	Keisuke Hirata, Takanori Kokubun, Taku Miyazawa, Hiroki Hanawa, Keisuke Kubota, Moeka Sonoo, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura	2020.5
2	Evaluation of the Validity, Reliability, and Kinematic Characteristics of Multi-Segment Foot Models in Motion Capture.	共著	あり	○ Osteoarthritis and Cartilage Open 2 (4), 2020	Yuka Sekiguchi, Takanori Kokubun, Hiroki Hanawa, Hitomi Shono, Ayumi Tsuruta, Naohiko Kanemura	2020.8
3	Effects of exercise therapy on joint instability in patients with osteoarthritis of the knee: A systematic review	共著	あり	○ Osteoarthritis and Cartilage Open 2 (4), 2020	Kawabata S., Murata K., Nakao K., Sonoo M., Morishita Y., Oka Y., Kubota K., Kuroo A., Kita S., Nakagaki S., Arakawa K., Kokubun T., Kanemura N.	2020.11
4	Usefulness of Muscle Synergy Analysis in Individuals With Knee Osteoarthritis During Gait	共著	あり	○ IEEE Transactions on Neural Systems and Rehabilitation Engineering PP(99):1-1	K. Kubota, H. Hanawa, M. Sonoo, S. Kita, K. Hirata, T. Fujino, T. Kokubun, T. Ishibashi, and N. Kanemura	2020.12
5	Influence of the site of injury on the spontaneous healing response in a rat model of total rupture of the anterior cruciate ligament	共著	あり	○ Connective Tissue Research Published online: 04 Mar 2021	Kano T.,Kokubun T.,Murata K.,Oka Y.,Ozone K.,Arakawa K., Morishita Y.,Takayanagi K., Kanemura N	2021.3
6	Effect of Various Types of Muscle Contraction with Different Running Conditions on Mouse Humerus Morphology	共著	あり	○ Life 2021, 11(4), 284	Ozone K., Oka Y., Minegishi Y., Kano T., Kokubun T., Murata K., Kanemura N.	2021.3
7	Treadmill Exercise after Controlled Abnormal Joint Movement Inhibits Cartilage Degeneration and Synovitis	共著	あり	○ Life 2021, 11(4), 303	Oka Y., Murata K.,Ozone K.,Kano T.,Minegishi Y., Kuroo A., Arakawa K., Kokubun T., Kanemura N.	2021.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	Kinetics of the foot and lower extremity joints during drop-jump tests	共著	International Society of Electrophysiology and Kinesiology Congress (ISEK) 2020, July, Nagoya, Japan	Yuka Sekiguchi, Hiroki Hanawa, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2020.4	

2	Effect of aging and knee osteoarthritis on muscle synergy	共著	International Society of Electrophysiology and Kinesiology Congress (ISEK) 2020, July, Nagoya, Japan	Keisuke Kubota, Hiroki Hanawa, Moeka Sonoo, Shunsuke Kita, Keisuke Hirata, Tsutomu Fujino, Taku Miyazawa, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2020.4
3	Impact of controlling abnormal joint movement on the effectiveness of subsequent exercise intervention in mouse model of early knee osteoarthritis	共著	Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	Y Oka, K Murata, T Kano, K Ozone, K Arakawa, T Kokubun, N Kanemura	2020.4
4	Effect of joint instability on bone-cartilage degeneration in destabilization of the medial meniscus model	共著	Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	K Arakawa, T Kokubun, Y Oka, K Ozone, S Nakagaki, K Murata, N Kanemura.	2020.4
5	A quantitative study to examine the effect of controlling abnormal joint instability in a mouse model of anterior cruciate ligament tibial displacement and cartilage degeneration	共著	Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	T Kokubun, K Arakawa, Y Oka, K Ozone, A Kobayashi, H Takahashi, K Takahata, M Yoneno, K Murata, N Kanemura	2020.4
6	Controlling joint instability after anterior cruciate ligament transection inhibits the transforming growth factor-beta-mediated osteophyte formation	共著	Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress	K Murata, Y OKa, K Onitsuka, T Kokubun, A Nakajima, K Arakawa, S Nakagaki, N Kenamura	2020.4
7	遠心性収縮優位な持続的運動は腱付着部炎を誘発する	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	小曾根海知, 国分貴徳, 岡優一郎, 峯岸雄基, 高島啓, 高橋花菜, 米野萌恵, 村田健児, 金村尚彦	2020.12
8	高強度運動介入による機械的負荷の蓄積は Enthesopathy様の病態変化を惹起する	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	高島啓, 小曾根海知, 高橋花奈, 米野萌恵, 荒川航平, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2020.12
9	半月板機能不全による関節不安定性と, 圧縮応力の増大が関節軟骨変性に与える影響	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	荒川航平, 諸沢和真, 岡優一郎, 小曾根海知, 中垣澄香, 高島啓, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2020.12
10	ラット棘上筋腱再建術後における通常飼育が Scx発現量に与える影響	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	高橋花奈, 小曾根海知, 米野萌恵, 高島啓, 宇佐美優奈, 荒川航平, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2020.12
11	マウスアキレス腱断裂後治癒モデルにおいて早期可動域運動が及ぼす影響	共著	第25回 日本基礎理学療法学会学術大会	米野萌恵, 峯岸雄基, 小曾根海知, 高橋花奈, 高島啓, 宇佐美優奈, 荒川航平, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2020.12
12	ラット棘上筋腱修復モデルの治癒過程における簡易的なコラーゲン評価方法の検討	共著	第29回埼玉県理学療法学会	高橋花奈, 小曾根海知, 米野萌恵, 高島啓, 武藏晃平, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1
13	ラット足関節拘縮モデルにおける運動介入が足関節及び膝関節の関節包に及ぼす生化学的影響	共著	第29回埼玉県理学療法学会	中尾幸暉, 川端空, 村田健児	2021.1
14	関節不安定性の制動における滑膜の炎症性サイトカインを抑制効果について	共著	第29回埼玉県理学療法学会	村田健児, 岡優一郎, 加納拓馬, 森下佑里, 黒尾彩, 荒川航平, 中垣澄香, 小曾根海知, 峯岸雄基, 国分貴徳, 金村尚彦	2021.1
15	マウスアキレス腱縫合術後における腱治癒過程の顕微鏡観察	共著	第29回埼玉県理学療法学会	米野萌恵, 小曾根海知, 高橋花奈, 高島啓, 宇佐美優奈, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1
16	変形性膝関節症患者の関節不安定性に着目した運動療法の効果～システムティック・レビューによる検討～	共著	第29回埼玉県理学療法学会	川端空, 中尾幸暉, 村田健児, 森下佑里, 園尾萌香, 喜多俊介, 久保田圭介, 岡優一郎, 黒尾彩, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1
17	変形性膝関節症の進行早期における関節不安定性と滑膜炎の関係	共著	第29回埼玉県理学療法学会	高島啓, 荒川航平, 高橋花奈, 米野萌恵, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1

18	半月板機能不全による関節不安定性の制動が軟骨変性因子に与える影響	共著	第29回埼玉県理学療法学会	荒川航平, 高島啓, 岡優一郎, 小曾根海知, 中垣澄香, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1
19	遠心性収縮運動の強度及び頻度の違いが腱骨付着部に及ぼす影響	共著	第29回埼玉県理学療法学会	小曾根海知, 国分貴徳, 高島啓, 高橋花菜, 米野萌恵, 岡優一郎, 峯岸雄基, 荒川航平, 村田健児, 金村尚彦	2021.1
20	Relationship between joint instability and synovitis in the early stage of knee osteoarthritis	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Kei Takahata, Kohei Arakawa, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2
21	Effect of suppression of joint instability on cartilage and meniscus degeneration	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Kohei Arakawa, Kei Takahata, Yuichiro Oka, Kaichi Ozone, Sumika Nakagaki, Kazuma Morosawa, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2
22	Impact of exercise intensity on tendon healing in a rat rotator cuff reconstruction model	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Haruna Takahashi, Kaichi Ozone, Moe Yoneno, Yuna Usami, Kazuma Morosawa, Kei Takahata, Yuki Minegishi, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2
23	Proteomic analysis of sports-related enthesopathy onset factors	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021, February, Virtual	Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Takanori Kokubun, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Kei Takahata, Kohei Arakawa, Naohiko Kanemura	2021.2
24	Proteomic analysis of sports-related enthesopathy onset factors	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021, February, Virtual	Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Takanori Kokubun, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Kei Takahata, Kohei Arakawa, Naohiko Kanemura	2021.2
25	Achilles Tendon Rupture: Effect of Passive Ankle Dorsiflexion Stretching After Surgical Treatment In Mice	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2021	Moe Yoneno, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuna Usami, Haruna Takahashi, Kei Takahata, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.2

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤C)	靭帯損傷後における膝関節神経機能ネットワーク回復過程の解明.	研究代表者	2018.4-2022.3
2	埼玉県立大学奨励研究費 (A)	進行期変形性膝関節症に対する適切な運動療法の探索	研究代表者	2019.4-2020.3
3	埼玉県立大学特別研究助成	膝関節不安定性による異常関節運動を制動した変形性膝関節症の疼痛抑制機構の探索	研究代表者	2019.4-2022.3

(4) その他

	名称	単・共	学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動学入門	○	8	運動学入門の講義について、Webを介したビデオ教材を作成し、学生が復習できる環境を設置した。
2	臨床運動学	○	30	動作分析や歩行分析における分析手法と運動学・運動力学的視点での分析方法と各疾患別の分析方法について実習を含めて解説した。
3	理学療法研究法		2	文献検索の方法や研究論文を読むために必要な統計学を解説した。
4	運動器理学療法チュートリアル		13	理学療法が対象とする運動器疾患についての評価や理学療法について実技を交えて解説した。

5	理学療法管理学		13	理学療法業務にあたり、管理に関する事項や医療保健動向やカルテに関する解説を行った。
6	理学療法特別演習		2	国家試験対策問題の作成と講義を行った。
7	保健医療福祉学際英語		2	国際学会での学会発表においてのポイントについて、実例を交えて講義を行った。
8	障害基礎解析学演習	○	8	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクスの手法から組織学、分子生物学的分析方法の解説を行った。
9	理学療法症候障害論	○	4	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について解説した。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法基礎解析学演習	○	8	理学療法研究に関する分析方法、組織学、生化学分析の手法について開設を行った。
2	運動器障害理学療法実践テュートリアル	○	12	運動器疾患を想定した理学療法の評価から理学療法プログラムの立案と実践を行った。
3	機能診断学実習		27	運動器疾患に対する評価法について、実技を行った。
4	リハビリテーション学演習（障害基礎解析学）	○	8	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクスの手法から組織学、分子生物学的分析方法の実技を交えて解説した。
5	理学療法症候障害論 演習	○	8	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について英文誌の読み解く演習と実践を行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
2	臨床教育実習Ⅱ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		8週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
4	臨床教育実習Ⅳ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2020.4-2021.3	主指導	3名	副指導 名
2	修士論文	2020.4-2021.3	主指導（指導教員）	5名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2020.4-2021.3	主指導（指導教員）	9名	副指導（指導補助教員） 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	春日部市立看護専門学校（非常勤講師）	2020.4-2021.3	人体の構造と機能に関する講義と試験・国家試験対策

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第24回日本神経麻酔集中治療学会	日本神経麻酔学会	骨格筋から中枢神経系における組織間連関機構からみた運動の効果	2020.8
2	生物工学Webシンポジウム2020	生物工学学会	骨格筋と健康長寿社会	2020.9
3	第15回JNOSウェビナー	日本整形内科学会	ファシアを含めた運動器の基礎と運動効果	2020.10
4	第25回日本基礎理学療法学会	日本基礎理学療法学会	座長 一般演題	2020.12
5	日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会 学術大会2020	第7回日本地域理学療法学会学術大会	座長 一般演題	2020.12

6	日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会 学術大会2020	第9回日本理学療法教育学会学術大会	教育シンポジウム 実習受け入れ施設での学生指導の現状と展望 養成校の立場から シンポジスト 及び 司会	2020.12
7	(公社) 埼玉県理学療法士会 令和2年度教育局認定	埼玉県理学療法士会	変形性関節症の病態理解と理学療法 ～基礎研究と臨床研究のコラボレーション～	2020.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	第30回埼玉県理学療法学会 準備委員長		第30回埼玉県理学療法学会	2020.4-2021.3
2	社団法人 日本理学療法士協会		編集委員会 委員	2020.4-2021.3
2	埼玉県理学療法士協会 学会運営審議委員		学会運営審議委員	2020.4-2021.3
3	専門リハビリテーション研究会		理事	2020.4-2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会		2019～2020年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学運営連絡会議		2019～2020年度
3	全学的委員会及びセンター業務等	研究評価委員会		2019～2020年度
4	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会		2019～2020年度
5	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会		2019～2020年度
6	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会		2019～2020年度
7	全学的委員会及びセンター業務等	有害物質管理責任者 (全学)		2019～2020年度
8	全学的委員会及びセンター業務等	実験動物室 管理者		2019～2020年度
9	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験室 南176、177 共通棟西105 管理責任者		2019～2020年度
10	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会 動物実験部門		2019～2020年度
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会		2020.4-2021.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	関節内組織が膝前十字靭帯損傷の治癒メカニズムに及ぼす影響 Influence of intra-articular tissue on the healing mechanism of anterior cruciate knee ligament injuries.		日本整形内科学会	2020.11
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				